



ヒグマトランク
キットで知ろう!

私たちも地球の生きもの

つながるいのち



つながりのち

地球に生息するすべての生きものは支え合いながらバランスをとっています。古来より人間は他の生きものから「いのち」をいただき、「いのち」をつないできました。

食べもの

普段、食卓に並ぶ肉や魚、卵、野菜などは、地球に生息する生きもののいのちをいただいている。現在では住宅地の拡大によって野生動物による農作物被害などが多くなり、そのため対策として、鹿やイノシシなどを捕獲して「ジビエ」の食材として利用されています。

衣服や道具

およそ5300年前のミイラが着ていた衣服はすべて革製品とされるほど、動物の皮は人の暮らしに欠かせないものでした。「皮」は樹液に漬け込む等の「なめし処理」で「革」へと変化させ利用してきました。骨もまた縄文時代には加工し、鍔や針、クシやかんざしなどの道具として利用してきました。

「共生」のために大切なのは 出会わないこと。

熊が人間の暮らす住宅地などに入っこないように人が注意できることがあるよ。

- 食べたものやゴミを外におきっぱなしにしない
- 森や山では熊鈴やラジオを鳴らして自分の存在を知らせる
- 熊の目撃情報などがあった場所に近づかない

ヒグマトランクキットでヒグマを知ろう!

こんかい さっぽろしせいしょうねんやま いえ
今日は札幌市青少年山の家のオリジナル「ヒグマトランクキット」をのぞいてみよう!
じっさい 実際にさわってみると、もっとヒグマを身近に感じることができるよ。



ヒグマの毛皮

おとな毛皮。フワフワ、ゴワゴワ。爪はとっても長い!かぶってヒグマになつてみると、うっすらヒグマのにおいが残っているよ。



ヒグマの足あとシート

ほんもの おな おお あし
本物と同じ大きさの足あと。
まえ あし うし あし かたち
前足と後ろ足で形がちがう
ふう ある
ね。ヒグマはどんな風に歩いて
いるのかな。実際に歩いて
みると歩き方やその大きさを
かん 感じるよ。



ヒグマの頭骨

ほんもの あたま ほね にんげん に
本物の頭の骨。人間と似ている
きかうし くさ
臼歯は草やドングリなどをかみ
み つぶす。見るからに強そうな4
ほん けん し にく
本ある犬歯はお肉をかんだり
モノを運んだりする。

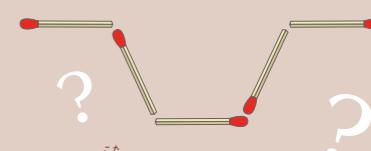


くますず げき たい
熊鈴、撃退スプレー

もり みち で あ
森のなかや道ばたでバッタリ会わない
ために、鈴を身につけて音を鳴らして自分
の存在をヒグマなどの熊に知らせるよ。
スプレーは唐辛子エキスが入っていて、
おそれそうになった時に使うヒグマ
などの熊を追い払うことができる。
※スプレーの効果は絶対ではありません

みんなで \ あそぼクイズ!/

ぼう ほん うご
マッチ棒を2本だけ動かして
ぼう し 帽子をさかさまにしてね



こた
答えはページのなかの
どこかに入っているよ!
さが
探してみてね。

札幌市青少年山の家では「ヒグマトランクキット」を実施しています。

とう し せつ りょう じょう けん
当施設ご利用団体様の要望に応じて、ヒグマの生態についてのプログラムを実施します。
とう し せつ よ やく ほう おう
当施設のご予約方法については下記をご覧ください。

① 利用の条件

- 5人以上でご利用ください。
● 18歳未満の方がご利用になる場合、18歳以上の引率者が必要です。

② 利用できる日

・山の家のホームページより「予約状況カレンダー」をご確認ください。



③ 利用申し込み

・受付時間は午前9時~午後5時となります。

豊平区 豊平児童会館
TEL.011-811-1376

とつけき! じどうかいかん 児童会館

このコーナーは、
児童会館を利用している
みんなで記事を作りました。

札幌市内には、109館の児童会館と90館のミニ児童会館があります。児童会館は、0歳~18歳が自由にあそぶことのできる施設です。ミニ児童会館は小学校の教室を利用しておらず、その小学校区に居住する1~6年生が利用できます。

わたしたちの/ かいかんの すごい人



「ボールのしゅもくやコマ」のたつじん!
たかせみずきさん
(4年生)

1. あなたが「ボールのしゅもくやコマ」が
とくいになったきっかけはなんですか?

努力!

2. すきなあそびは?

ボールしゅもく全部

3. すきなたべものは?

ちゅうかりょうりが
大好き

4. すきなおんがくは?

「ただ声一つ」と
Alia「かくれんぼ」、
いつつもいてる!

5. すきなじゅぎょうは?

たいいく、がっかつ、
さんすう、りかです!

6. そんけいする人(すきな人)をおしえてください。

学校の先生をそんけいしてる!

7. あなたのかいかんをせんでんしてください。

じどうかんでは本もたくさんあるし、たのしいあそびも
いっぱいあります!まいにちたのしいです!

豊平児童会館のあそびベスト3

- 1位 ブロック
- 2位 UNO
- 3位 ぬりえ



記事/豊平児童会館のみんな

「不要」なものを「使う」ものへ。想像力で、たのしくかえる。自分でつくると、大切に使える。使っていると、まわりに伝わる。つくってわくわく、つかってつながる。

用意するもの

数がそろっていないトランプ、パズル、ゲームのパーツ、使わなくなったブロックやおままごと、景品玩具、余ったボタンや木材、思い出の貝殻などなど、なんでもOK※銛利な部分があるもの、重量のあるもの、ボンドが取れやすい素材のものは避けましょう

- ・ローチピン、または安全ピンとフェルト
- ・多用途ボンド

つくり方

バッジにしたいものの裏側に、ローチピンをボンドでつけるだけ!
安全ピンを使う場合は、フェルトを小さく切ってピンを覆うようにつけましょう。



バッグなどにバッジをつけて、おでかけしよう!



樹井 亜実(青葉児童会館)
いつも「なにかおもしろいこと」を探したり、つくったりして
います。



いつも「なにかおもしろいこと」を探したり、つくったりして
います。

バッグなどにバッジをつけて、おでかけしよう!

フィンランド・ヘルシンキから

Moi! の 食卓 第3回



石森 弘子
1977年生まれ。
2012年よりヘル
シンキ在住、3児
の母。



フード×サステナブル

Moi! (モイ=こんにちは)。ヘルシンキもすっかり冬景色です。冬のフィンランドは日照時間が短くなります。そんな長くて暗い夜は、たくさんのキャンドルを部屋にともして、あたたかく過ごすのがフィンランド流です。

時にはマイナス30度にもなる北国では、冬じたくがかけません。冬のビタミン補給に夏はベリーを冷凍したり、秋にはキノコを乾燥させたりして、1年を通して冬の保存食を準備しています。なかでも、わが家で人気の保存食といえば、ハバパンカーリ(発酵キャベツ)。ドイツのザワークラウトのようなもので、千切りにしたキャベツを塩で揉み、瓶にぎゅうぎゅう詰めにして1週間ほど発酵させたらでき上がりです。サラダや付け合せとしてもおいしいですが、我が家ではサンドウィッチの具ひとつとして重宝しています!赤キャベツで作ると色々な色味が少ない冬の食卓が少しだけ華やかになります。北国

の北海道でもいかがでしょうか?

さて、話は変わって、ロシアとウクライナの戦争はフィンランドの食生活にも大きな影響を及ぼしています。もともと物価の高い国ではありますが、毎日のように野菜やお肉の値段が上がっていて、家計にのしかかっています。国産のものではなく、燃料費の関係でどんどん値上がりする始末。ますます貧困が広がっています。最近はスーパーのレジ先に支援用の大箱やカートが置かれるようになりました。ここに保存がきく食料品や日用品などを購入したものを入れておくと、NPO団体などを通じて必要な人たちの手に届くようになっています。普段の買い物のついでに、知らない誰かへの優しさを置いてくことができるので、素敵なお試みです。ロシアと隣り合わせのフィンランドでは、9月末の国境完全封鎖の直前、街には国外へ脱出しようとロシアの人々がたくさん溢れています。もちろんウクライナからの難民の人たちが多く、もはやこの戦争は人ごとではありません。日常で忘れてはいけないがちですが、温かいご飯を家族そろって食べられることほど、幸せなことはないというのを改めて感謝する毎日です。2023年が、世界中が素敵でキラキラした年になりますように願っています。

①ハバパンカーリ(Hapankaali)は、サラダやソーセージの付け合せに

②サンドwich:学校給食では夕方までたな

③支援カート:小さな善意がたくさん詰まったカート。空のカートも日数でいっぱいになります



みんなの ひらめき 画伯! きたかた このみさん(3年生)

このかたち、
なーんだ?

「北海道あるある」



「北海道の
春が
訪れる…」
小野幌小学校
2年生
大溝 航さん



「キツネに気をつけて…」
豊國小学校3年生 森田 日菜さん



「おいしいお魚たくさん、自然が豊か」
南の沢小学校1年生 西庄 眞平さん



右のQRコードから
キミの作品をおくってね!

イラストを応募して当てよう! みんなの プレゼント

抽選で3組 もいわ山ロープウェイ+ もりすカーチケット

「みんなの広場」にイラストを応募してくれたお友達のなかから、抽選で3組に、もいわ山ロープウェイ+もりすカーチケット(家族分大人2名+子ども2名)をプレゼントします!応募方法は右記まで。



*当選は発送をもってかえさせていただきます。提供:株式会社札幌振興公社

イラスト 募集

〈応募締め切り〉
2023年2月10日(金)

「あそぼ」では、みんなからのイラストを募集しているよ。毎号出されるテーマでイラストをかいて送ってね。※イラストの返却はできませんので、ご了承ください。お詫び/前号「みんなの広場」のイラスト応募締め切り日を誤って今号の締め切り日で記載しております。この場をもって訂正およびお詫び申し上げます。

応募方法

描いたイラストは、下記の必要事項をご記入の上、郵送またはメールで写真を撮影するかスキャナしたデータを添付の上、送信ください。
※データ送信の場合は、JPEGなどの形式で解像度300dpi以上、データサイズを5MB以下でお願いいたします。

[送り先住所]

〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
(公財)さっぽろ青少年女性活動協会

「あそぼ」イラスト係

[送り先メールアドレス] asobo_magazine@syaa.jp

[必要事項]

- ①氏名 ②年齢
- ③学校名、学年(発行時) ④郵便番号・住所
- ⑤電話番号 ⑥保護者名 ⑦作品のタイトル

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会は、イラストの応募を通じてご提供いただきました個人情報を本プレゼントの発送以外の目的で使用することはありません。

次号のイラストテーマ 「野生動物」

じこう
次号の「あそぼ」発行日は
2023年3月上旬です。



